

SGH 通信

R1.10.11 海外リサーチ特別号

高知県立高知西高等学校

〒780-8052 高知県高知市鴨部 2 丁目 5 番 70 号

TEL 088-844-1221 / FAX 088-844-4823

URL: <http://www.kochinet.ed.jp/nishi-h/>

令和元年度高知西高校 SGH 海外リサーチ！

1 年生が台湾へリサーチ活動に飛び立つ！

9 月 23 日（月）～9 月 27 日（金）にかけて、1 年生が台湾リサーチに行ってきました。リサーチ参加生徒数は、10 名でした。ほとんどの生徒が海外へ出かけることが初めてで、日本では得られない貴重な経験をしてきたようです。今後、このリサーチ活動をもとに、それぞれのグループが探究活動を進めていくことになります。



【台湾リサーチ】(9月23日(月)～27日(金))

【リサーチ 1 日目（9 月 24 日（火））】

23 日（月）は移動日で、24 日（火）から、リサーチ活動を行いました。午前中は、日本台湾交流協会（台北事務所）を訪問し、担当の正岡和也様より、台湾事情について、ご講演をいただきました。午後からは、映画「千と千尋の神隠し」の舞台と言われる九份に行き、観光客誘致のための工夫を学びました。



～日本台湾交流協会（台北事務所）～

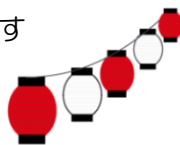


～九份～



【生徒の感想】

- ・日台間の友好関係が良いのは、歴史的背景に起因することを学んだ。また、台湾の人はとても友好的に接してくれることを実感した。
- ・台湾では、外国の人とコミュニケーションをよく取っている光景をよく目にした。私たちは、外国人の観光客に対して、しっかりと対応できるだろうか？高知県に外国人観光客を誘致して活性化させるためには、言語のことも大切になると感じた。
- ・もともとは炭鉱であった九份を観光地にする発想がすごいと思った。日が沈む前と後とで、九份は違った見え方をする。この違いが、九份を楽しめる観光地にしているのだろう。
- ・店員さんの話術がすごい。台湾人は、日本語が話せて、観光客の誘致に対応していることに気づかされた。



【リサーチ2日目（9月25日（水））】

25日（水）は、企業訪問等を行いリサーチしました。午前中は、牛軋糖創意博物館を訪問し、担当の黄莉雅様より、台湾ヌガー（お菓子）の成り立ちや歴史についてのお話をいただきました。午後からは、永康街・西門街に行き、台湾の流行について学びました。

夜には高知の「ひろめ市場」のモデルになった士林夜市に訪れ、観光客をもてなす工夫について学びました。

～牛軋糖創意博物館～



～西門街～



～士林夜市～



【生徒の感想】

- 牛軋糖創意博物館では、店員さんの接客の仕方、内装の面白さ、台湾では「ヌガー」が人気のあるお菓子であることを学びました。
- 西門街では、日本のものが多く人気があることが分かった。また、店員さんのほとんどが英語を話していた。観光客の多いところは英語が基本になっているようだ。
- 士林夜市では、店員さんは日本語もOKな場所だった。



【リサーチ3日目（9月26日（木））】

26日（木）は、学校訪問を行いリサーチしました。午前中は、実践大学を訪問し、担当の宋正宏先生より、台湾の食文化についてご講演をいただきました。午後からは、延平高級中学に行き、生徒との交流を深めるとともに、台湾の秋の行事である「ムーン・フェスティバル」について学びました。

夕方には延平高級中学の生徒たちの家庭にホームステイをさせていただきました。

～実践大学～



～延平高級中学～



【生徒の感想】

- 実践大学では、台湾の食文化について詳しく知ることができた。
- 台湾では“精神料理”といって、健康などを意識した食べ物が好まれるということから、日本食も身近になれば、さらに人気が出るのではないと思った。
- ホームステイ先では、英語の必要性を痛感した。同い年の子でも当たり前英語を利用していた。

